

単元名 音楽に思いをこめて（選択教材）B

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070302_001

【教材名】ふるさと（歌唱 共通教材）（P. 42～P. 43） さようなら（歌唱）（P. 45）

【準備等】範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 言葉を大切にしながら「ふるさと」を歌う。</p> <p>★曲にこめられた思いを感じ取り、みんなの歌声で表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○範唱CDを聴いて、学習課題をつかむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、曲全体の雰囲気をつかむ。 ○主旋律を聴唱法で歌う。 ○曲に込められた思いを感じ取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解する。 ・歌詞の表している情景や気持ち、作者の思いについて話し合う。 ○作者の思いや情景を想像しながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の盛り上がり（気持ちが一番盛り上がる場所） ・強弱 ・フレーズ ・言葉の響き ・表情や視線の角度 ○副次的な旋律を聴唱法で歌う。 ○音の重なり合いや強弱・フレーズに気を付けて、表情豊かに二部合唱する。 <p>2～3 楽曲の盛り上がりを感じ取って「さようなら」を歌う</p> <p>★盛り上がりを生かし、心をこめて歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「さようなら」の主旋律を歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・範唱を聴き、楽曲の感じをつかむ。 ・主旋律を歌詞唱で歌う。 ・歌詞を音読し、イメージしたことや思ったことを発表し合う。 ○主旋律の歌い方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> ・主旋律について、気付いたことを伝え合う。 ・弱起で始まるフレーズの多用 ・3段目からの曲想の変化、盛り上がり ・4段目の曲想 ・全体の強弱記号 ・最後のフレーズの1拍目の休符 ・静かに余韻を残しながら歌い終わる など ・どのように歌いたいか、各自メモする。 ○下声部を捉え、二部合唱する。 <ul style="list-style-type: none"> ・下声部の音を確認する。 ・1拍目の休符や、上声部を追いかけて歌うところ、同じリズムで動くところを確認する。 ・クラスを二部に分け、二部合唱し、声部の関わり合いや全体の響きを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした曲の雰囲気を感受し取りさせる。 ・2小節、4小節、8小節の順に少しずつフレーズを増やして音をとらせる。 ・1番は、少年時代の記憶が具体的な風景として描写されている。2番は、しばらく会っていない人々への思いが、現在の自分の心象風景として描かれている。3番では1番で歌われた風景に思いを馳せながら、いつの日か故郷に錦を飾る決意を表明している。 ・言葉の対比（うさぎと小ぶな、山と川など）にも気付かせていく。 ・曲の盛り上がりは4段目となる。 ・息継ぎは2小節ごとになっているが、詩の流れから1段、または2段続きの大きなフレーズとなる。気持ちの上で続けるように歌わせる。 ・濁音は鼻濁音となるように響きに気を付けさせる。 ・「山」は高い視線、「川」は低い視線、3行目は正面を向いて明るい顔で…など歌詞の内容から視線の角度を工夫してもよい。 ・旋律線の動きを確認し、強弱表現の工夫をする。 <p>【共通事項】旋律 音の重なり</p> <p>【評】曲想と声部の役割など音楽の構造や、曲想と歌詞の内容とに関わらせながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>【評】各声部や全体の響き、伴奏を聴いて声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員で共有できるよう大きな楽譜を用意し、児童の気付いたことを書き込んでいく。 ・弱起に気を付けて聴いたり歌ったりするように促す。 ・フレーズの歌い方について考えていくように促す。 <p>【共通事項】フレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は全員が下声部も体験できるように、クラスを二つに分けて交代で歌うが、その後は自分の声域も考えながら声部を選択させる。 ・変声期の場合は無理をさせない。 <p>【共通事項】音の重なり</p> <p>【評】声を合わせて歌う活動を通して「主体的</p>

- 自分たちのイメージに合う表現を工夫して歌い合わせる
 - ・それぞれの歌詞に合わせてどのように歌っていくか、意見を交換する。
 - ・声部の役割を生かし、聴き合いながら歌い合わせる。

に学習に取り組む態度」を評価する。
・響きのバランスを大切に歌わせる。
【評】旋律の流れや声部の関わり合い、全体の響きを聴き取り、それらのよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】